

事業番号	04 05 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	男女共同参画推進事業	部局	県民文化部	課・室	人権・男女共同参画課			
		実施期間	S54 ~	E-mail	jinken-danjo@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標								
総合的に展開する重点政策	5-2 女性が輝く社会づくり							

1 現状と課題

- ・管理的職業従事者に占める女性の割合が全国最下位。また、男女の地位が平等だと感じている人の割合は、全国調査値と比較して低い状況。
- ・固定的性別役割分担意識、男性優位の社会構造、慣習が男女共同参画社会づくりを阻害。コロナ禍においてジェンダー課題が顕在化。

2 事業目的

- ・性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指す。
- ・長野県男女共同参画社会づくり条例に基づき令和3年6月に策定した「第5次長野県男女共同参画計画」を着実に実行するため、県民や事業者、関係団体等のニーズに応える取組の具体化やEBPMの推進を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

① 企業における女性の登用・採用拡大

- ・調査研究事業により県内企業において女性登用が進まない要因や支援のニーズを把握し、中長期的に取り組む施策を明確化。
- ・女性活躍推進会議や女性活躍推進セミナーを通じて調査研究事業の成果等を共有するとともに、業種を超えた女性管理職同士の交流会等により女性自身のエンパワメントを強化。

② 地域における女性の参画拡大

- ・固定的性別役割分担意識を払拭し、地域における男女共同参画社会づくりを促進するため、身近で自分事として捉えやすい「防災」を手掛かりとする取組を実施。
- ・男女共同参画センターにおいて、県民向けセミナー等をオンライン等の多様な方式で実施。

③ 不安や困難を抱える女性への支援

- ・コロナ禍において不安・困難を抱える女性の相談対応を行うことも食堂を拡充。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	県職員の部長相当職に占める女性の割合	%	5.5	5.6	↗	10.4	↗	6.5	達成	第5次長野県男女共同参画計画においてR8年度に10%を目標値としているため指標に設定し、R4年度は6.5%を目標とした。	
②	県職員の課長相当職に占める女性の割合	%	10.1	11.2	↗	11.5	↗	12.2	未達成	第5次長野県男女共同参画計画においてR8年度に16%を目標値としているため指標に設定し、R4年度は12.2%を目標とした。	
③	県の審議会等委員に占める女性の割合	%	38.9	39.0	↗	38.9	↘	40~60	未達成	第5次長野県男女共同参画計画において計画期間中40~60%を目標値としているため指標に設定し、R4年度にも同じ数値を目標とした。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	40,322	△680	39,642	30,415	34,203	7.0
R3年度	0	59,373	8,744	68,117	56,304	62,502	7.0
R2年度	0	59,623	2,023	61,646	53,584	55,659	7.0

事業番号	04 05 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	男女共同参画推進事業		部局	県民文化部	課・室	人権・男女共同参画課

6 主な取組実績と成果

① 企業内における女性の登用・採用拡大

- ・女性の管理職登用促進のため、県内4,000事業所を対象に調査を実施した。女性活躍の取組が進まない理由として、約3割の事業所が「経営課題としての優先度が低い」、約2割の事業所が「進め方が分からない」と回答した。また、結果について、女性活躍推進会議や女性活躍推進セミナー等で関係部局、関係団体等と情報を共有した。
- ・中小企業経営層を対象とした女性活躍推進セミナーをオンラインにより実施したほか、女性管理職同士の異業種交流会を2回（オンライン1回、会場1回）開催した。

② 地域における女性の参画拡大

- ・危機管理防災課と連携して「自主防災組織リーダー研修会」をオンラインにより開催した。女性の視点を取り込んだ避難所運営の必要性について研修を行い、自主防災アドバイザーや市町村防災担当者等の480名以上が受講した。
- ・男女共同参画社会づくりの拠点施設である男女共同参画センターにおいて、セミナー等をオンライン及びパブリックビューイングにより計34回開催した。

③ 不安や困難を抱える女性への支援

- ・こども食堂を運営するNPO法人の取組を活用して女性相談窓口を設置し、相談対応を計4,258件実施した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	県職員の部長相当職に占める女性の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
女性活躍推進法で定める「特定事業主行動計画」である「長野県職員いきいき活躍推進プラン」に基づき、女性職員の管理職への積極的な登用、キャリア形成に向けたきめ細やかな支援等の取組を実施したことにより、目標値を上回った。							
指標②	県職員の課長相当職に占める女性の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
数値は毎年度上昇しているものの、目標達成には至らず、一層の取組が必要である。							
指標③	県の審議会等委員に占める女性の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
女性の登用は一定割合まで進んできているが、女性の参画が少ない分野に関わる審議会等では女性の登用が進まず、全体として目標達成には至っていない。バランスのとれた委員構成となるよう継続的な取組が必要である。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・調査研究事業の結果から、女性活躍が進まない原因として、「進め方が分からない」と回答した事業所が2割に上ることから、企業のニーズに応じた女性活躍推進に係るきめ細かな支援の実施や、モデルとなる取組の水平展開が必要。
- ・企業における女性活躍を推進するため、経済団体等関係機関と連携し、経営層の意識改革に向けた一層の取組が必要。
- ・固定的性別役割分担意識、男性優位の社会構造、慣習等が男女共同参画社会づくりの形成を阻害しているため、引き続き防災分野を始めとした身近なところから着実に取り組む必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・女性活躍に取り組む意欲のある企業に対し、課題やニーズに応じたセミナー等の開催及び寄り添い型の支援を行うとともに好事例の情報発信を行い、企業の女性活躍を推進する。
- ・経済団体等と連携し、企業トップのリーダーシップによる働き方改革や女性登用の取組を促すため、セミナーや交流会を開催する。
- ・住民に身近な市町村や関係団体等と連携して、様々な講座等を開催し、家庭、地域、雇用の場における男女共同参画社会づくりに取り組む。

事業番号	04 05 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	男女共同参画推進事業		部局	県民文化部	課・室 人権・男女共同参画課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	男女共同参画推進事業		4,076 千円	9,521 千円	9,531 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	男女共同参画計画推進事業	直接	男女共同参画審議会を開催 1回開催		
2	女性の管理職登用促進のための調査研究事業	委託	県内企業における女性管理職登用の実態及び行政の支援ニーズ等を把握するために調査研究を実施 調査対象：県内4,000事業所		
3	女性活躍推進セミナー	委託 補助金	中小企業の経営層を対象とした意識改革を促すセミナーをYouTubeで配信し、女性管理職登用に係る取組等を行う県内企業の好事例を共有 配信動画：5本 配信期間：R5.2.1～3.27		
4	業種を超えた女性管理職同士の交流会	委託 補助金	女性管理職を対象とした参加型セミナーをオンライン方式、対面方式にて開催し、女性管理職登用に係る取組等を行う県内企業の好事例を共有 オンライン開催：参加者20名 対面開催：参加者39名		
5	防災分野における男女共同参画推進事業	直接	危機管理防災課と連携して、「自主防災組織リーダー研修会」を開催し、女性の視点を取り込んだ避難所運営の必要性について研修 ライブ配信、オンデマンド配信により視聴者480名以上		
6	コロナ禍において不安・困難を抱える女性に対する緊急支援事業	委託	女性相談窓口の設置及び相談対応を行うこども食堂の増設等を実施。相談事業について「信州こども食堂ネットワーク」や「信州こどもカフェ推進地域プラットフォーム」を通じて広く周知 相談件数：4,258件		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	男女共同参画センター管理運営費		51,583 千円	52,981 千円	24,672 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	男女共同参画センター設置等	直接 委託	諏訪湖環境研究センター（仮称）設置に係る改修工事開始までの間の施設管理を行うとともに、改修工事期間中の事務室・相談室の仮移転及び備品等の処分を実施 施設管理費：3,449千円 仮移転先改修費：1,041千円		
2	男女共同参画センター事業費	直接 委託	各種講座等をオンライン及びパブリックビューイングにより開催 一般相談・専門相談、情報提供等を継続的に実施 講座・セミナー等：34回（行政職員相談員向け研修含む）、女性相談：1,569件、男性相談：106件		